

第二次苫小牧市中小企業振興計画素案

1 創業及び事業承継の推進

現状と課題

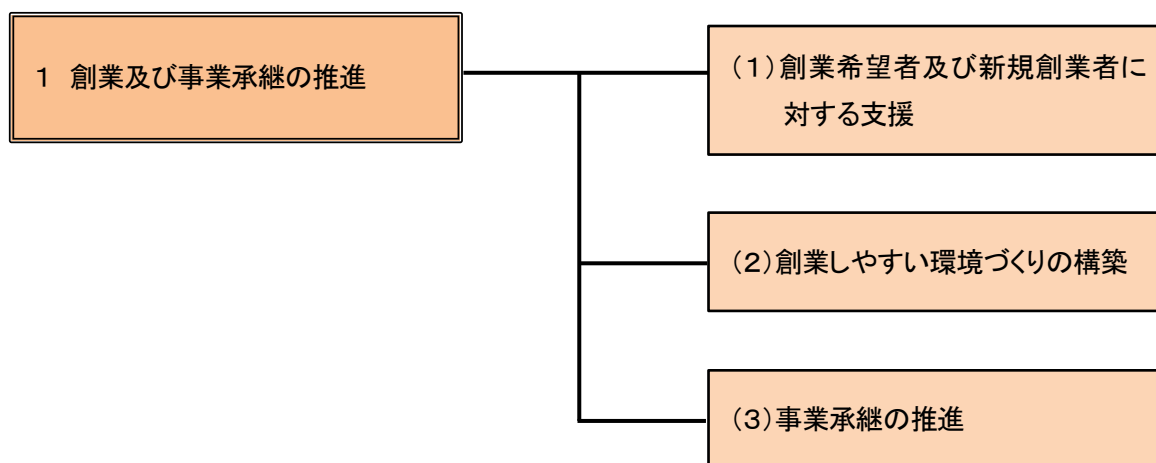
少子高齢化と人口減少を背景に、市内の事業所数は減少傾向にあり、また、新型コロナウイルス感染症は、中小・小規模事業者に大きな打撃を及ぼしております。

一方で、こうした経済社会変化に対応するため、新規事業の展開や新たに創業する方などが増えており、地域経済の活性化のために、引き続き創業者を増やす支援や、中小・小規模事業者による事業承継を推進する取組が必要となっております。

基本目標

創業及び事業承継につながる支援を進め、市内における新規創業者及び事業承継の増加を目指します。あわせて、ICTに強い事業者を創出するとともに、事業者や創業者等が集う場を活用し、中小・小規模事業者のDX推進や情報産業等の活性化を図ります。

施策の体系



主要支援策

(1) 創業希望者及び新規創業者に対する支援

①新規創業セミナーの開催や苫小牧市創業サポート補助金等により、市内での新規創業を支援します。

(例：中小企業創業サポート事業)

②ICT関連の創業を支援するとともに、市内中小・小規模事業者のICT利活用を支援します。

(例：ICT化推進コミュニティ創出事業、【中小企業庁】中小企業デジタル化応援隊事業等)

(2) 創業しやすい環境づくりの構築

①市内事業者等と連携し、事業者同士が意見交換のできる場の活用支援を行います。

(例：市内コワーキングスペース等の活用、苫小牧市イベント・環境整備等助成金等)

②空き店舗を活用できるよう、情報発信等を行います。

(例：市ホームページを活用した空き店舗情報の発信等)

③中小企業相談所や市内金融機関等創業支援機関の活用支援を行います。

(3) 事業承継の推進

①市内事業者に対し、事業承継に係る支援機関や支援制度及びセミナーの開催案内等について、情報発信を行います。

(例：苫小牧市事業承継推進事業等)

②商工会議所や市内金融機関等と連携し、事業承継についての周知や、後継者不足・事業承継に課題を抱える事業者の掘り起こしを行います。

(例：苫小牧市事業承継推進事業等)

評価指標 (いずれも単年度)

指 標	R2年度 (*基準値)	R4年度 (見込み)	R9年度 (目標値)
創業サポート補助金 利用人数 (うちICT関連事業者)	22人 (0人)	25人 (3人)	30人 (5人)
事業承継セミナー 参加人数	15人	20人	30人

※令和2年度の実績を基準値とする。

※主な事業については、中小企業振興計画別冊を参照。

第4章 3つの柱～実行計画～

1 創業促進及び経営基盤の強化

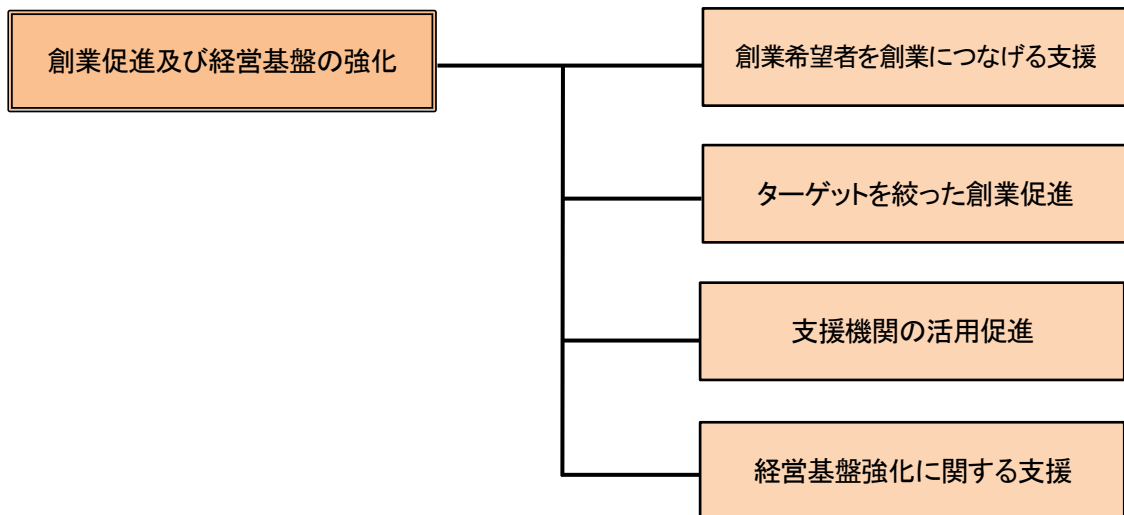
現状と課題

市内中小企業の事業所数は、平成13年をピークに減少傾向にあります。このため、事業所数の減少を抑え、雇用拡大など産業活性化のためには創業者を増やす支援が必要です。また、創業後についても経営基盤を安定化させるための対策が求められています。

基本目標

創業につながる支援の拡充を進め、創業者の増加を目指します。また、創業後も支援機関の相談窓口や本市の融資制度を活用し、経営の安定化を図ることを目指します。

施策の体系



主要支援策

(1) 創業希望者を創業につなげる支援

- ①国や道、市など関係機関の支援事業を活用し、創業を志す人材を後押しします。
- ②創業セミナー等、支援事業を開催する曜日や時間帯を工夫し、参加者の増加を図

ります。

(2) ターゲットを絞った創業促進支援

- ①女性起業家の創出を図るセミナーを開催します。
- ②専門的な知識・技術を持つ高齢者等の創業を支援します。

(3) 支援機関の活用促進

- ①中小企業相談所や金融機関の相談窓口など、中小企業の振興につながる支援機関を積極的に周知し、利用促進を図ります。

(4) 創業後のサポートなど、経営基盤強化に関する支援

- ①事業を継続させることはもちろん、さらに発展させるため、経営計画の見直しや支援事業の活用など、支援機関などと協力し、創業後の継続的な支援を行います。
- ②本市の融資制度の周知を図り、中小企業の経営を支援します。

評価指標

指 標	H28年度 (*基準値)	H30年度 (見込み)	H34年度 (目標値)
新規創業セミナー 参加人数	46人	50人	60人
創業サポート補助金 利用人数	7人	12人	15人
苫小牧市中小企業融資制度 利用件数	274件	280件	300件

※平成28年度の実績を基準値とする。

主な事業 ※詳細は別冊を参照

- 新規創業セミナー
- 中小企業融資制度
- 小規模企業経営改善資金における信用保証料の補給 など